

2024 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	八尾市東町一丁目自主防災組織
活動テーマ	大規模災害時における災害用トイレの活用推進活動



八尾市東町一丁目自主防災組織では南海トラフ巨大地震が発生すると、八尾市内の補備全戸が断水すると「八尾市地域防災計画」には記載されています。水が止まると飲料水に困りますが、水の備蓄は各家庭で割と進んでいます。しかし、トイレが使用不能になることを想定している家庭は少なく、携帯トイレの普及率はまだ低調です。私たちは、大災害の時に真っ先に困るのは、トイレが出来ないことであり、トイレを我慢することによって健康障害や栄養状態の悪化や感染症の拡大、メンタル面の不調など災害関連死を引き起こすことを知ってもらいたいと思いました。

私たちはこのようなトイレ問題が今までの災害で繰り返し起きてきたことと、トイレ問題に起因した災害関連死も多く発生していることをアピールし、住民が携帯トイレを備蓄し、東町一丁目自主防災組織も備蓄することによって、町内でのトイレ問題に起因した災害関連死をゼロにしたいという思いを住民に提起しました。加えて、簡易トイレや目隠しテント、携帯トイレの使用方法を説明し、災害時にすぐに使用できることの重要性を伝えました。今回の活動を通じて行政と対話をする機会を何度か頂戴いたしました。今まではそういう機会があまりありませんでしたので、今後は行政や近隣の諸機関とも緊密な意見交換を行い、大災害発生時に避難する人たちが、尊厳が維持された生活を送れる避難所の運営と、災害関連死ゼロを目指して活動を続けていきます。